

平成 29 年 12 月 11 日

大阪府空手道連盟 御中

強化部会 部長 藤田 典正
(文責：岩藤)

天皇盃・皇后盃
第 45 回全日本空手道選手権大会について (報告)

標記大会に参加しましたので、下記のとおり報告いたします。

- 日 時 12 月 9 日 (土) 東京武道館 団体組手予選
12 月 10 日 (日) 日本武道館 個人戦及び団体組手決勝
- 大会結果
 - ・団体組手男子 ベスト 8 (神奈川県に敗退)
 - ・団体組手女子 2 回戦敗退 (京都府に敗退)
 - ・個人男子組手 篠原浩人 ベスト 8 (東京：渡邊に敗退)
船橋真道 3 回戦敗退 (東京：香川に敗退)
 - ・個人女子組手 尾立佳菜子 3 回戦敗退 (千葉：植草に敗退)
篠原 渚 3 回戦敗退 (千葉：多田野に敗退)
 - ・女子個人形 清水希容 優勝
畑山久留実 1 回戦敗退 (東海地区：田中に敗退)
 - ・男子個人形 堀庭裕平 1 回戦敗退 (学連：西山に敗退)
- スタッフ 監督 男子団体組手・個人組手 藤田
" 女子団体組手・個人形 今井
コーチ 兼学連監督 木下
総務 岩藤
- 概 要



(大会第 1 日目)

東京武道館において男女各団体組手競技が行われた。

女子団体組手は初戦の広島に 2-0 で勝ち 2 回戦で昨年準優勝の京都府との対戦となった。1 勝 1 敗 1 分け同点で代表戦までもつれ、代表戦で尾立と中村が試合を行い尾立が敗れた。

男子団体組手は 1 回戦からの試合で、

初戦の山形県に続き宮崎県、北海道と順調に勝ち進み、ベスト8で神奈川県との対戦となった。先鋒及び次鋒は同点ではあったものの「先取」の規定により先鋒及び次鋒戦を落とした。続く中堅及び副将戦ではポイント差をつけて勝ち2勝2敗で大将戦となった。大将戦でも相手に「先取」を取られシーソーゲームとなったが最終的に同点で終了し、大将戦も「先取」の規定により負けとなり、2-3で神奈川県に敗退した。膝のケガで個人戦のある船橋を使うことができなかったのも大阪府の戦いには厳しい状況であった。チーム力で乗り越えようとしたが「先取」で3敗するという惜敗であった。



(大会第2日目)

個人戦のみ行われる。

女子個人組手では、尾立は3回戦で前年度優勝の植草との試合になったが健闘虚しく敗退した。篠原渚も初戦の八頭司、2回戦で東海（京都）に勝ち良い滑り出しであったが、3回戦で多田野（千葉）に惜敗した。

男子個人組手では、船橋が3回戦で香川（東京）に敗れ、篠原も今年こそは優勝

をと目指した大会であったが、ベスト8で渡邊（東京）に接戦の末敗退した。

個人形は高校生で全空連推薦にて出場した畑山と同じく全空連推薦で出場した堀庭が初戦で敗退してしまった。前年度優勝枠で出場した女子個人形の清水は貫禄を見せて5連覇を達成した。

本年度から個人組手の準決勝以上の試合において、ビデオレビューによる判定の異議申し立てができるようになった。そのVRを如何につかうかによって試合の結果が大きく変更される可能性を有していた。海外試合では既に導入されていることであるが、監督の状況判断が重要であることが露見された。今後はVR対策も検討する必要がある。

(最後に)

これで今年の主要大会は全て終了しました。最後に大阪府連の皆様に喜んでもらえるような結果を残せるように臨んだ試合でしたが、良いところはあったものの、あと一つのところで負ける試合が多く、良い結果は残すことができませんでした。課題であった女子組手の選手層も徐々に上がってきているものの、全日本でしっかりと結果を残せるように今後も取り組みが必要であります。形については大阪から3選手が出場するなど、また大阪出身で他府県から出場する先取もあり、大阪府の形選手の層の厚さを再認する大会でもありました。

今年度は国民体育大会で皆様の期待に反する結果を報告することになり、そのことを挽回するように臨んだ試合でありましたが結果を出すことができませんでした。

応援していただいた大阪府連の皆様をはじめ関係各位の皆さんに心からお礼を申し上げますとともに、今後も大阪府連の発展に寄与できるようスタッフ全員で前進してまいりたいと考えております。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上